



千代田区障害者就労支援センター通信

ちよだジョブコーチジャーナル

働くことを応援する

No.69

「私たちは、輝いて働く在宅障害者ワーカーです」
～オンもオフも全力で楽しんでいます！～



Web会議中の在宅スタッフのみなさん
(左から土方さん、渡辺さん、粕谷さん、笹川さん)



台湾旅行中の土方さん



ご自身で出版された本を持つ
渡辺さん

株式会社 LEOC

株式会社 LEOC は、病院・福祉施設、企業・学校、アスリートまで、幅広く食事を提供するコントラクトフード企業です。北海道から沖縄まで全国規模で事業を展開し、事業所（厨房）ではたくさんの障害者のかたと一緒に働いています。本社は千代田区大手町にあり、事業所を支えるバックオフィス（本社）には 10 名ほどの在宅障害者スタッフが在籍しています。

●一律ではなく、自分らしく輝いて働くために

在宅障害者雇用については、現在でも、勉強会などでよく話題に出ますが、弊社が在宅障害者雇用を立ち上げた数年前は、社会的にも「在宅勤務」という働き方や在宅勤務に必要な「ITリテラシー」といった概念が浸透する前の時期でした。報告連絡相談などのコミュニケーションの取り方から始まり、全てに最善策を検討しました。試行錯誤を繰り返しながら少しずつ状況が改善する中、生き活きと働く在宅スタッフを見ながら「働く」ことは収入を得ること以上に自己肯定感を高めたり達成感を強く感じさせる大切なことと再認識しました。特に、障害により通勤が困難な場合、在宅勤務をすることで社会との繋がりを実感でき、人生がより豊かになるケースを目の当たりにしてきました。その経験から、障害を含めて一人一人が違う状況の中で、在宅勤務で「自分らしく輝いて働く」場を作りたいと考えました。そのために、最も注力したのは、「労働時間」「多彩な業務切り出し」「マッチング」でした。(在宅スタッフ担当: 笹尾さん)

土方さんのお子さん
作画の笹尾さん⇒



●週 10 時間から、自分に合った労働時間の選択

まず、週 20 時間と週 30 時間の二種類しかなかった労働時間の選択肢を増やしました。治療や体力と仕事を両立できる労働時間は、人によって異なるためです。令和 6 年 4 月 1 日より特定短時間労働者がカウント対象になったことが追い風となり、週 10 時間以上であれば午後勤務や隔日勤務などバリエー

ションを豊かにしました。新規のご応募者の反応からも確実なニーズを感じています。社内でも、特定短時間であれば雇用可能な部署が増えました。もともと LEOC では、食事提供という業種上、常勤だけではなく様々な時間帯で働くパートタイマーが重要な位置を占めており、多様な労働時間に理解がありました。

●多彩な業務切り出し

また、業務はパソコンを使用した事務で、本社という利点を活かし様々な部署と連携して多彩な業務切り出しが可能です。実際の業務例としては、定番のデータ入力や書類作成から、電話・メールを使用したリマインド業務、英語スキルがあればメニュー英訳、デザインスキルがある場合はポスター作成や動画編集など、一人一人のスキルに応じて活躍できる多彩な業務内容を展開しています。自分の得意な業務に取り組むことでモチベーションが向上してより成果を出しやすくなるとともに、高い成果を出すことで社内での業務切り出し推進にも繋がっています。

●キーポイントはマッチング

最も大切なことは弊社及び業務内容にマッチする採用です。採用説明会などでは、丁寧に業務内容や求める人物像を説明し、理解いただけるように努めています。また、日頃より支援機関訪問や支援者との意見交換を積極的に行い、ベストマッチな人材を求めて、お互いの理解を深めています。

●在宅スタッフインタビュー

・土方さん（週 30 時間）

私は、筋肉が萎縮する指定難病で電動車椅子を使っています。もともと実業団のテニスプレーヤーだったこともあり、粘り強く仕事に取り組めるので、入力データのチェックなどを担当しています。普段は周囲の手を借りて「有難う」と言うばかりですが、仕事では「有難う」と言ってもらえてやりがいがあります。オフの日は旅行を楽しみ、去年は北海道・タイ・台湾に行きました。

・渡辺さん（週 15 時間）

私は聴覚障害がありますが、業務上のやり取りはメール・チャットで問題ありません。WEB 会議ではチャットや自動字幕を使用します。仕事は画像やデータの格納・配信業務などで、他の社員と関わることで社会との繋がりを強く感じます。オフでは「ろう文学」という冊子の発行活動もしており、仕事とプライベートを両立しています。

・笹川さん（週 30 時間）

私は心臓に障害があり、通勤ができず在宅勤務をしています。話すことが得意なので電話ヒアリング業務をしています。とてもやりがいがあります。身体上の配慮として、1 時間のうち 10 分間を休憩時間（※無給）にしてストレッチをしています。前職では無理をして通院もままならず病気を悪化させたことがありますが、現在は適切な配慮を受けて安心して働いています。

・粕谷さん（週 20 時間）

私は福祉ホームに住んでいるので、リハビリ・入浴など生活時間が決まっており、毎日同じ時間帯で働けないので曜日によって退勤時間を変えるなどシフトを調整してもらい、勤務を続けています。病気のため半身が動かしにくいですが、検索や入力業務を自分のペースでしながら、いろいろな人との繋がりができ世界が広がりました。LEOC の求人訓練を受けていた支援機関が教えてくれました。周囲に頼ることも時には良いなと感謝しています。

●在宅勤務採用の今後について

デジタルツールの進化で、現在ではフル在宅勤務でもコミュニケーションの不便はほぼない状況になりました。障害により通勤が困難あるいは危険なケースの受け皿として、在宅勤務は常に一定のニーズがありますが、出社に比べて求人数が非常に少ないと聞きます。能力のある障害者のかたの就業機会を広げられるよう今後も在宅勤務枠を確保して、活き活きと働く場を提供していきたいと思っています。

●取材を終えて

在宅勤務を許可する企業が増え、対応に苦慮している企業も多いと聞きます。LEOC 様の取り組みを通して、課題解決の糸口を見つけていただけたら幸いです。皆さんの活き活きとした姿に、「働く」ことで自分を取り巻く世界が変わり、意識も変わっていくのだと改めて気付かされました。色々企業側、当事者双方が「働きやすい職場」について考え、一人でも多くの障害のある方が活躍できる職場が増えることを願っています。

（インタビュー / 構成：佐藤 美津紀）



【会社概要】

株式会社 LEOC

所在：東京都千代田区大手町 1-1-3

大手センタービル 17 階

<https://www.leoc-j.com/>



LEOC 公式キャラクター れおくん
Copyright © LEOC All rights reserved.

EVENT × NEWS

令和7年度第1回地域交流会 障害のある方の「働く」を考える ～障害者雇用における高齢化について～

- 飯田橋公共職業安定所 雇用指導部門 主任雇用指導官 羽重田 浩一氏
- 飯田橋公共職業安定所 専門援助第二部門 統括職業指導官 前田 貴子氏



第一部の講演では、公共職業安定所から高齢者雇用についてご説明いただき、障害者雇用における現状を数値化するなどグラフを使ってわかりやすくお話していただきました。健常の高齢者だけでなく、高齢障害者人口が増加していることから、働く場所の確保が大切だという現状も理解できました。

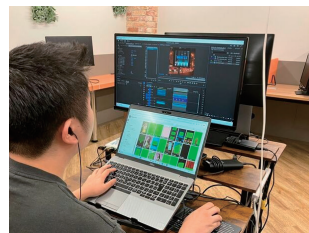
第二部のディスカッションでは、健常者と障害者の働ける年齢の差や、障害のある高齢者の障害特性と配慮事項について資料に沿って説明しながら、ご参加いただいている企業様から意見や対策などをお聞きしました。参加型のディスカッションにしたことで「地域交流する場を提供する」という地域交流会の目的も果たすことができました。引き続き地域の特徴や目の前にある課題をテーマに取り上げながら、地域交流会を開催してまいります。

多機能事業所ランパートアカデミー (自立訓練（生活訓練）/就労継続支援B型事業所)

ランパートアカデミーの就労継続支援 B 型では、動画制作や事務の 2 コースをご用意しています。動画コースではビジネス動画の編集や SNS 運用、事務コースでは営業事務や経理といった実践的な業務に取り組みます。在宅利用も可能です（市区町村の定めによる）。

活動時間は 11:00 から 16:00、ランチ休憩は 1 時間。無料の手作りランチをご提供しています。

初心者の方から安心してチャレンジできる環境と、きめ細やかな工資アップの仕組みがありますので、「じぶんのペースで」ステップアップできます。一般就労やフリーランスなど、目指すゴールは人それぞれ。経験豊富なスタッフ一同、あなたのチャレンジを応援し成長をサポートします。ぜひお気軽に見学へいらしてください。



住所：東京都千代田区岩本町 1-9-2 Biz SQUARE 神田 1F B1F

HP：<https://rampart-a.jp/>

お問合せ：月～土曜日 10:00-17:00 TEL：080-3750-5760 FAX：03-5829-9792

最寄駅：東京メトロ日比谷線【小伝馬町駅】2 番出口徒歩 3 分

都営新宿線【岩本町駅】A5 出口徒歩 5 分

JR 山手線【神田駅】南口徒歩 9 分



就労支援のお問い合わせ

電話：03-3264-2153 FAX：03-3556-1223

E-mail：chiyoda.syuroushien@city.chiyoda.lg.jp

発行：千代田区障害者就労支援センター 第 69 号（2025 年 8 月 31 日発行）

取材協力：株式会社 LEOC

毎回、働く障害のある方やその職場を紹介していきます。次号もご期待下さい。